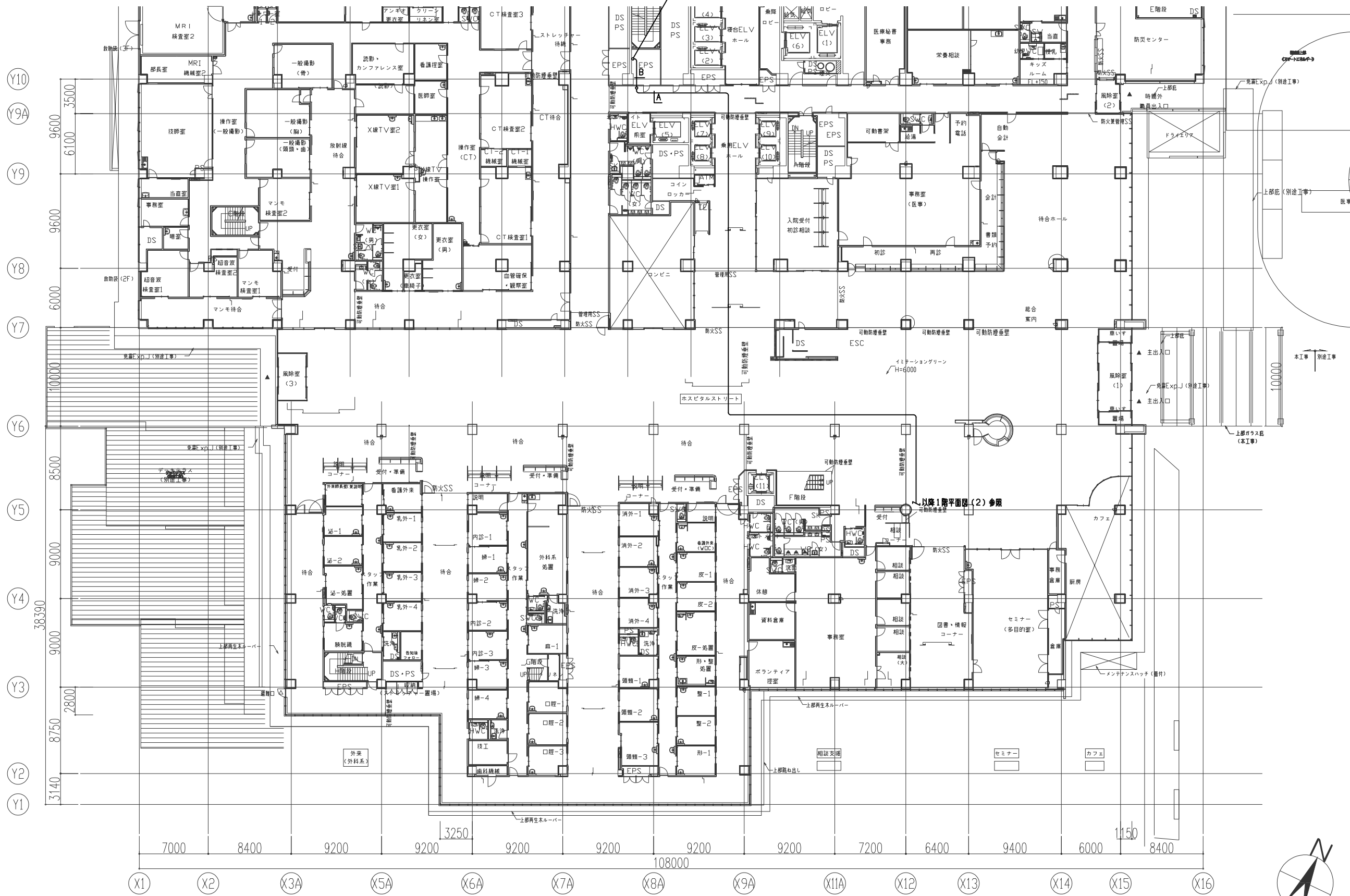
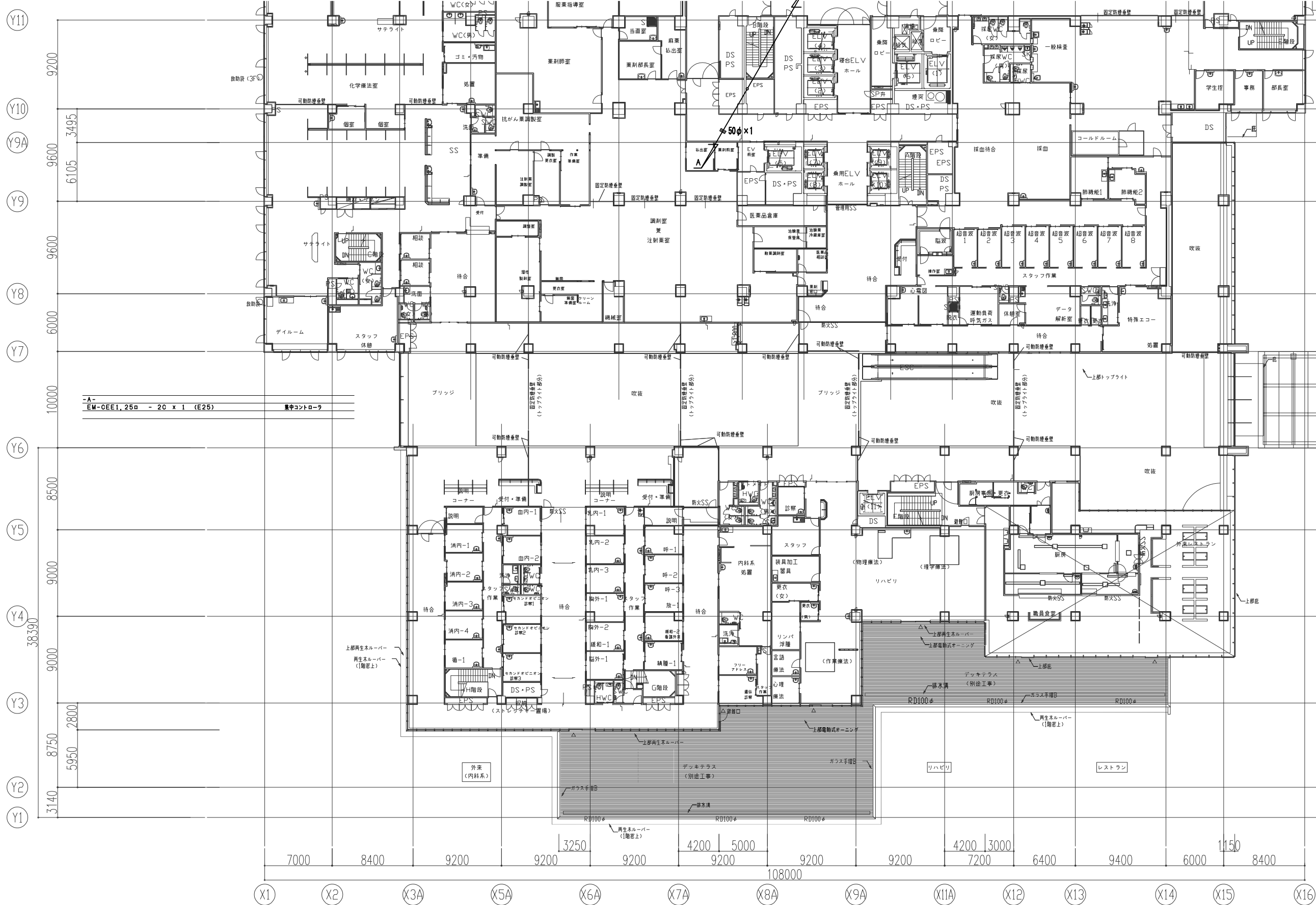


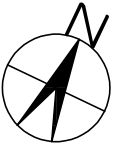
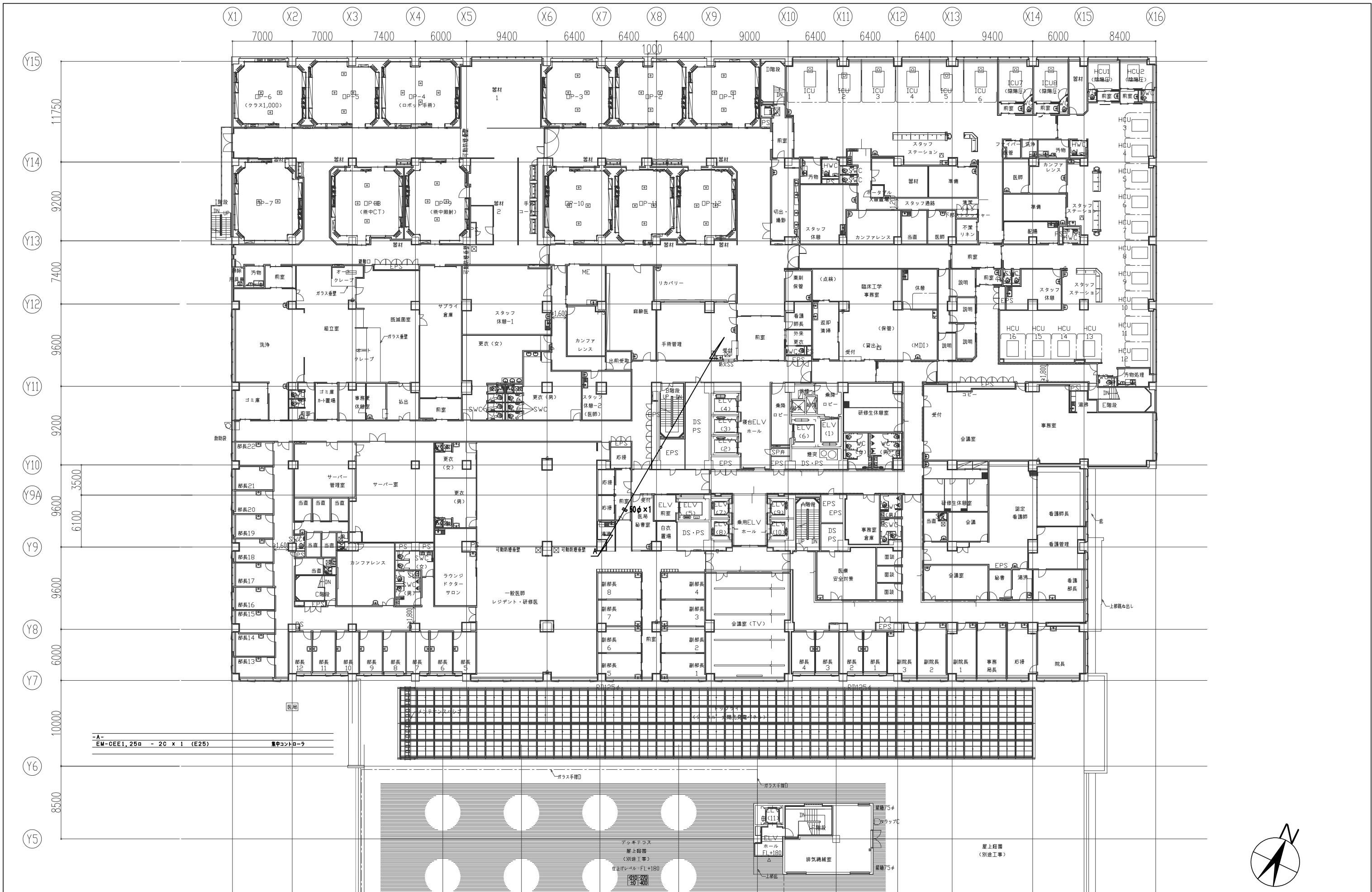
-A-	EM-OEE1, 250 - 20 x 1 (コロン)	集中コントローラ
-B-	EM-OEE1, 250 - 20 x 1 (E25)	集中コントローラ



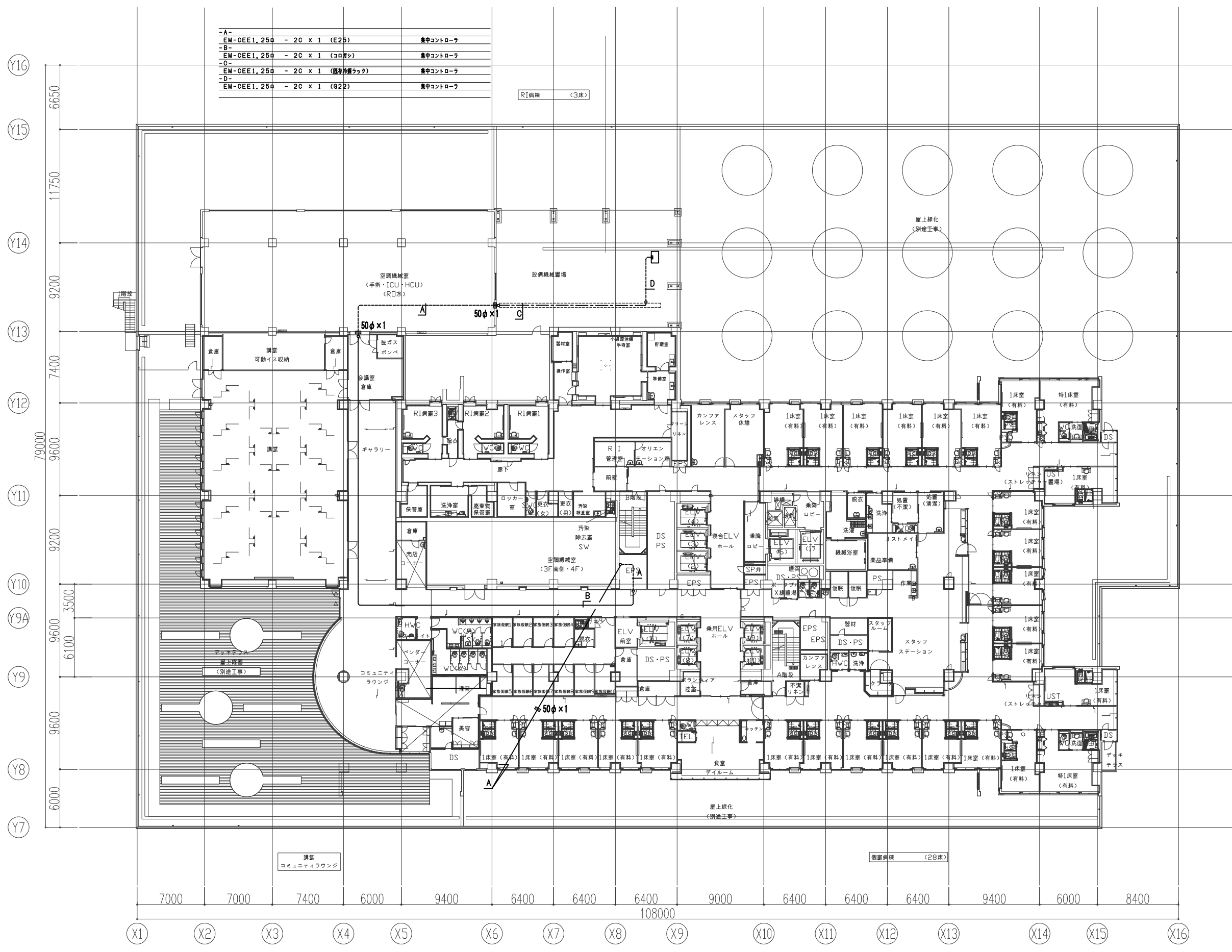
地方独立行政法人埼玉県立病院機構 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事	株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京事務所 電話03-5561-1198	地方独立行政法人埼玉県立病院機構 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 自動制御設備 1階平面図 (3) (改修)	M-009 図尺 A1: 1/200 A3: 1/400



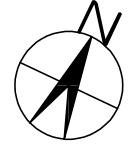
		<b>株式会社 内藤建築事務所</b>		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		M-010
		東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京事務所 電話03-5621-1199		工事名 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 図名 自動制御設備 2階平面図 (改修)		
地方独立行政法人埼玉県立病院機構				縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400		設計日



地方独立行政法人埼玉県立病院機構 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 自動制御設備 3階平面図 (改修)		株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都中央区 第085114号		M-011 図凡 A1: 1/200 A3: 1/400
		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		



-A-	EM-OEE1, 25φ - 20 x 1 (E25)	集中コントローラ
-B-	EM-OEE1, 25φ - 20 x 1 (コロボシ)	集中コントローラ
-C-	EM-OEE1, 25φ - 20 x 1 (板付伸縮ラック)	集中コントローラ
-D-	EM-OEE1, 25φ - 20 x 1 (G22)	集中コントローラ

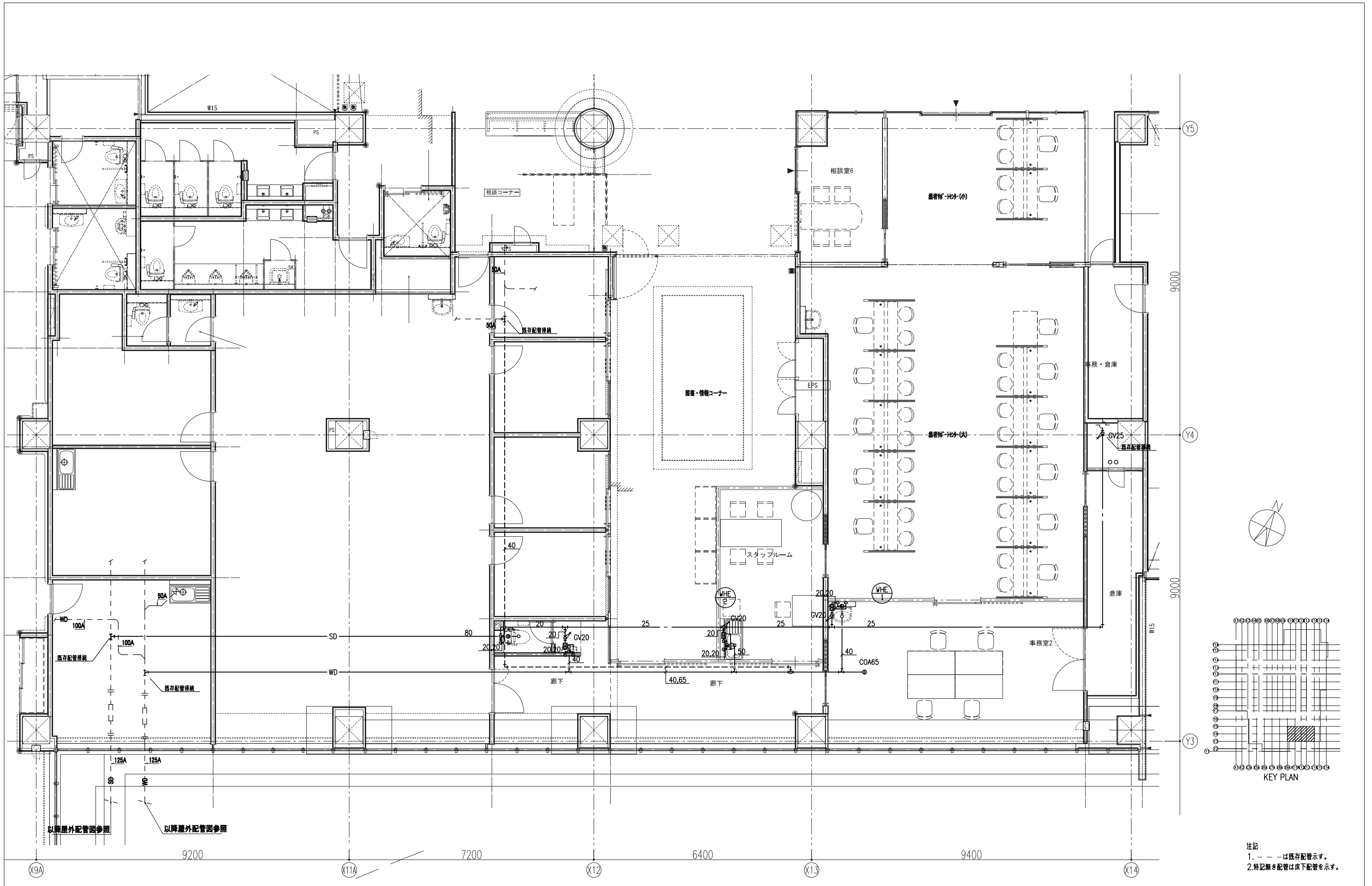


機器表		設置階	台数	機器仕様	電動機 (50Hz)										防振装置 G:「A」 S:「ブリンク」 P:「M」 注	備考	
機器番号	機器名称 (系統名)				動力 KW	相 φ	電圧 V	極数 P	起動方式	非常電源	インバータ・電子制御	速方 免停	運転故障表示	警報			コンクリート基礎
WHE-1	電気温水器	1	1	形式 壁掛貯湯式電気湯沸器 (洗用型) 貯湯量 3L 付属品 週間タイマー、空焚防止機能、膨張水排出装置、 他標準付属品一式	0.6	1	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
WHE-2	電気温水器	1	1	形式 台下設置型貯湯式電気湯沸器 (飲用・洗用兼用型) 貯湯量 25L 付属品 週間タイマー、空焚防止機能、膨張水排出装置、 他標準付属品一式	1.1	1	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(熱湯使用)

衛生設備凡例表

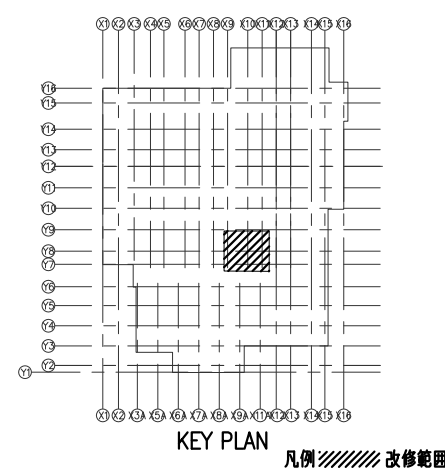
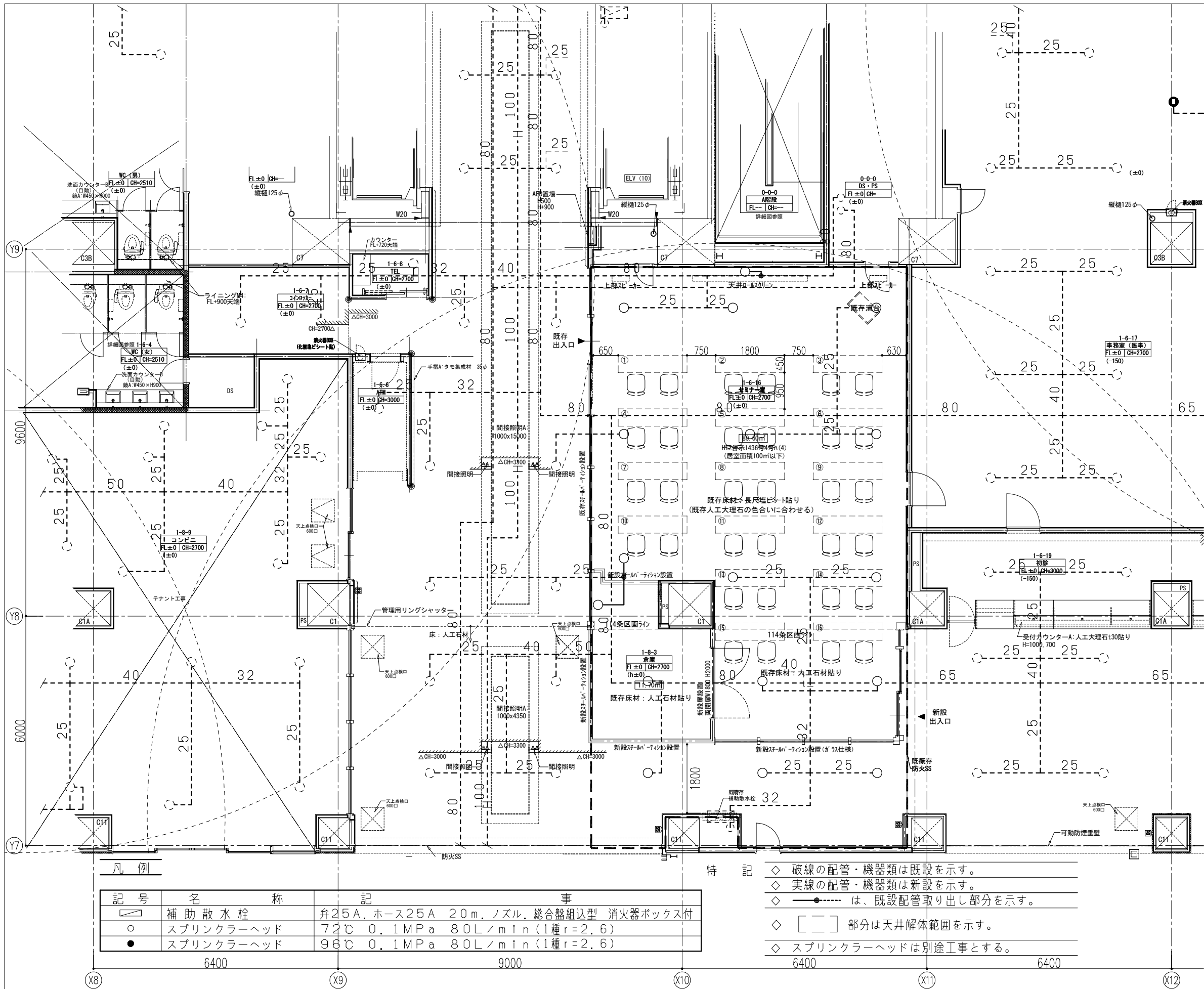
記号	名称	備考
(衛生配管)		
	給水管 (上水)	一般配管用ステンレス鋼管 ※1 ※2
	給水管 (雑用水)	一般配管用ステンレス鋼管 ※1
	給湯管 (送り)	一般配管用ステンレス鋼管 ※1
	排水管 (汚水)	リサイクルVP又はRF-VP ※3
	排水管 (雑排水)	リサイクルVP又はRF-VP ※4 ※5
	通気管 (一般排水)	リサイクルVP又はRF-VP ※4
(継手類)		
	立上り管, 立下げ管, 立管	
	フランジ	
	エルボ・テーズ	
	ベンド・90° Y	
(弁類)		
	仕切弁	
(衛生器具類)		
	水栓 (水・混合・湯)	
	掃除口 (床上・床下)	
		※1 PS以降の横引管は、ポリブテン管とする。
		※2 土中埋設部分は、水道配水用ポリエチレン管とする。
		※3 区画貫通部分は、排水用ノントールエポキシ塗膜鋼管、又は、排水・通気用耐火二層管とする。
		※4 区画貫通部分は、配管用炭素鋼鋼管 (白)、又は、排水・通気用耐火二層管とする。
		※5 手術用洗手器から排水横主管までは、耐熱硬質ポリ塩化ビニル管とする。

名称	付属品	TOTO (参考型番)	LIXIL (参考型番)	電源	合計	1F			
						WC	スタッフルーム	事務室2	
洋風大便器	フラッシュタンク、二連紙巻器、洗浄便座 (フタ無し)、他標準付属品一式	UAXC3S2BNH1, TCF587H1, TH484V3, YH701	C-P111P, DQ-PB150P, CF-63HST, OH-PB11F-NEC, CF-93-1, CF-22S, CF-23PQR, CF-23K, CWA-280	AC100V 355W	1	1			
洗面器 (壁掛式)	自動混合水栓 (発電式)、鏡、他標準付属品一式	L250C, TLE28SS1W, YW450A	L-170UWH-H, AH-300C, KF-4560	自己発電	1		1		
壁付手洗器	自動混合水栓、トラップカバー、電気温水器、鏡、他標準付属品一式	LSE870RWPFRR, YW450A	L-A747WC, A-5303W, KF-4560	AC100V 351W	1	1			
混合水栓 (台付)		TEX34UPASA	SF-WK451SX	AC100V 1.4W	1	1			



注記  
 1. ---は既存配管を示す。  
 2. 特記なき配管は床下配管を示す。

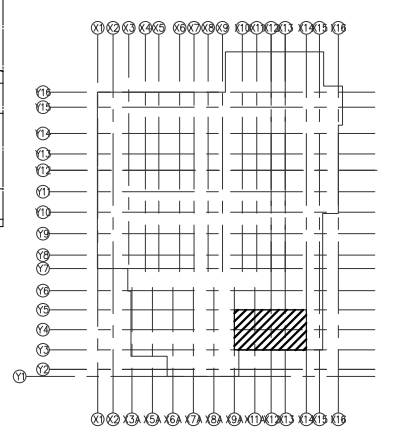
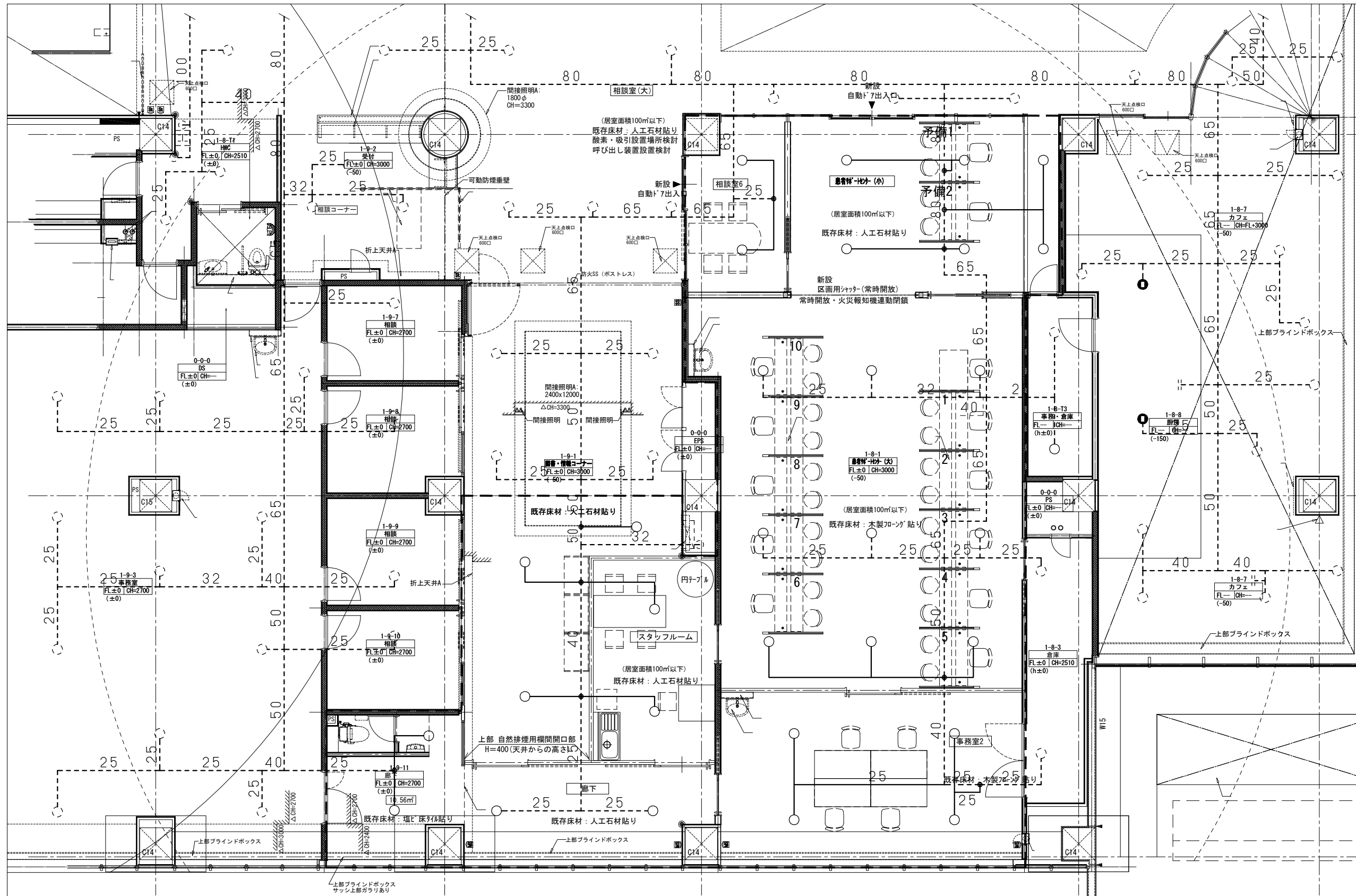
株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都中央区 第32519号		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		原簿 P-002
		工事名 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事		
地方独立行政法人埼玉県立病院機構		図名 給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修)		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100



凡例

記号	名称	工事
□	補助散水栓	弁25A, ホース25A 20m, ノズル, 総合組込型 消火器ボックス付
○	スプリンクラーヘッド	72℃ 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)
●	スプリンクラーヘッド	96℃ 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)

- 特記
- ◇ 破線の配管・機器類は既設を示す。
  - ◇ 実線の配管・機器類は新設を示す。
  - ◇ ●--- は、既設配管取り出し部分を示す。
  - ◇ [ ] 部分は天井解体範囲を示す。
  - ◇ スプリンクラーヘッドは別途工事とする。



記号	名称	記	事
□	補助散水栓	弁25A, ホース25A 20m, ノズル, 総合盤組込型	消火器ボックス付
田	専用栓	弁65A	
○	スプリンクラーヘッド	72°C 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)	
●	スプリンクラーヘッド	96°C 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)	

- 特記
- ◇ 破線の配管・機器類は既設を示す。
  - ◇ 実線の配管・機器類は新設を示す。
  - ◇ は、既設配管取り出し部分を示す。
  - ◇ [ ] 部分は天井解体範囲を示す。
  - ◇ スプリンクラーヘッドは別途工事とする。



# 医療ガス設備特記仕様書

## 1. 医療ガス新設配管分岐に伴う供給停止作業概要

- 1-1 作業日時  
配管切替作業計画書を元に病院様と協議の上
- 1-2 供給停止範囲  
形・整 処置 (図面参照 ステップ2)
- 1-3 操作バルブ  
待合天井内バルブ (図面参照 ステップ2)
- 1-4 作業スケジュール (想定)  
① 集合・ミーティング  
② 作業準備  
③ 仮設ポンペ配置  
④ 病院様立会いの下バルブ閉止  
⑤ 配管分岐作業  
⑥ 病院様立会いの下バルブ開放・復旧確認
- 1-5 仮設供給ガス種  
酸素 (仮設ポンペによる供給)  
吸引 (ポータブル吸引機による対応)
- 1-6 仮設供給ポンペ数量  
配管切替作業計画書を元に病院様と協議の上

## 2. 配管工事

### 2-1 配管材料

ガス名称	配管	継手仕様	備考
酸素	リン脱酸鋼継目無管 (JIS H 3300 C1220T Lタイプ)	左記鋼管による形成品又は JIS H 3401 鋼及び鋼合金の管継手、	鋼管の異種金属に対する保護として塩ビ管又は防食テープを使用する。
吸引	ガス別に着色を施された熱収縮性合成樹脂チューブ被覆鋼管とする。	JIS H 3250 の機械的接続の加工品とする。	支持金具と鋼管が直接接触しない様、鋼管用吊金具を使用する。

### 2-2 配管の支持間隔

呼称管径 (mm)	20未満	20以上
支持間隔 (m)	1.5 以内	2.0 以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

### 2-3 配管の識別表示

隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被覆鋼管を使用する。各識別色は下記による。

配管	酸素	吸引
色別	緑	黒

### 2-4 配管の施工

- 特定の構成部品に使用される機械的継手を除き、全ての金属配管の接続は、恒久的な接続となるよう付又は溶接が望ましい。機械的継手をとする場合は、恒久的な接続となる手段をもたせるか、又は接続部が点検できるようにする。
- 壁取付れ器具への立ち下げ配管は、酸素・吸引はφ10とする。
- 壁埋込み配管の保護は軽量鉄骨壁内金属接触部では防食テープ又はPF管で防食保護する。保護する範囲は、壁内の全長+50mm以上とする。
- カラーパイプを溶接接合するために被覆を削り取る部分の長さは、500mm以内とする。
- 配管の溶接作業は、酸化防止措置として配管内に不活性ガス (窒素ガス) を通しながら行う事。

## 2-5 検査・試験

ガス名称	試験用ガス	配管気密試験		試験用ガス	総合気密試験	
		試験圧力	保持時間		試験圧力	保持時間
酸素	窒素	1.0MPa	24 時間	窒素	0.4MPa	24 時間
吸引		0.5MPa	2 時間		0.1MPa	2 時間

(注) 各排気管は、全長にわたって未接続箇所がないことを確認する。

- 配管工事終了後、系統試験を行ない、配管に異常の無い事を確認の上配管気密試験を行なう事。
- 排気管、安全放出口を除く鋼配管は、配管気密試験完了後、器具取付け前には窒素ガスを放出して管内の清掃を行い、異物、ごみ、塵あひ等を十分に除去する。
- 総合気密試験は、端末の器具全ての取付終了後に行ない、配管及び器具に異常の無い事を確認の上作動試験を行なう事。

## 2-6 検査・試験の順序

- 配管外観検査
- 配管系統検査
- 配管気密試験
- 配管内清浄度検査
- 器具外観検査
- 総合気密試験
- 区域別遮断弁作動確認
- 作動及び性能検査
- 竣工検査

検査・試験は区域ごと行ってもよいが各検査・試験を合格せず、次の検査・試験を行ってはならない。

検査不合格の場合、手直し後は必要な検査・試験まで戻って実施する。

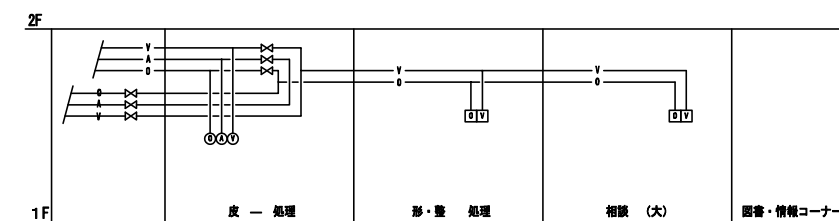
作動及び性能検査時のポンペは本工事に含まない。

## 2-7 完工検査

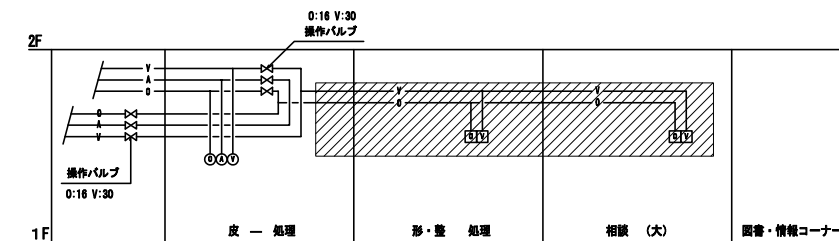
竣工引渡し後、すべての系統の配管設備が試験用ガスから当該施設が使用するべく用意された実ガスに置き換えられ、使用可能な状態となったときで、かつ使用開始前に行う。検査に当たっては、当該施設の医療ガス安全・管理委員会の代表又はそれに準ずる者が立ち会い、臨床使用時の安全性を確認する。この時のポンペ及び置換作業は本工事に含まない。

## 3 参照図

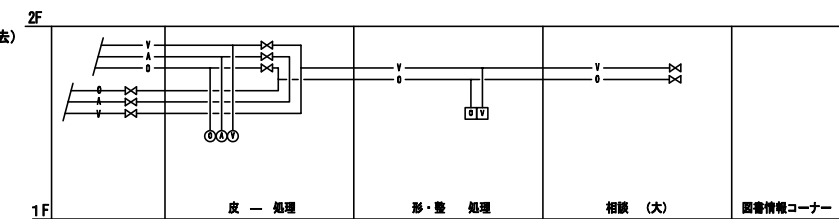
### 3-1 ステップ1 (改修前)



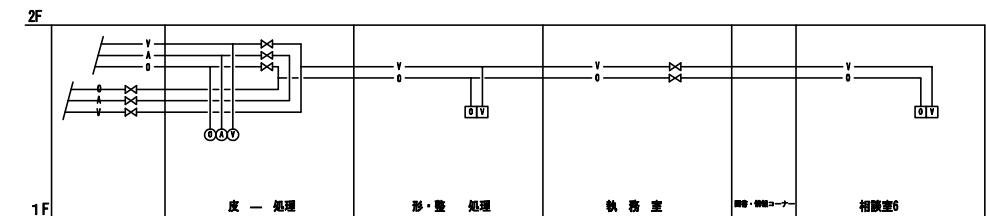
### 3-2 ステップ2 (供給停止範囲)

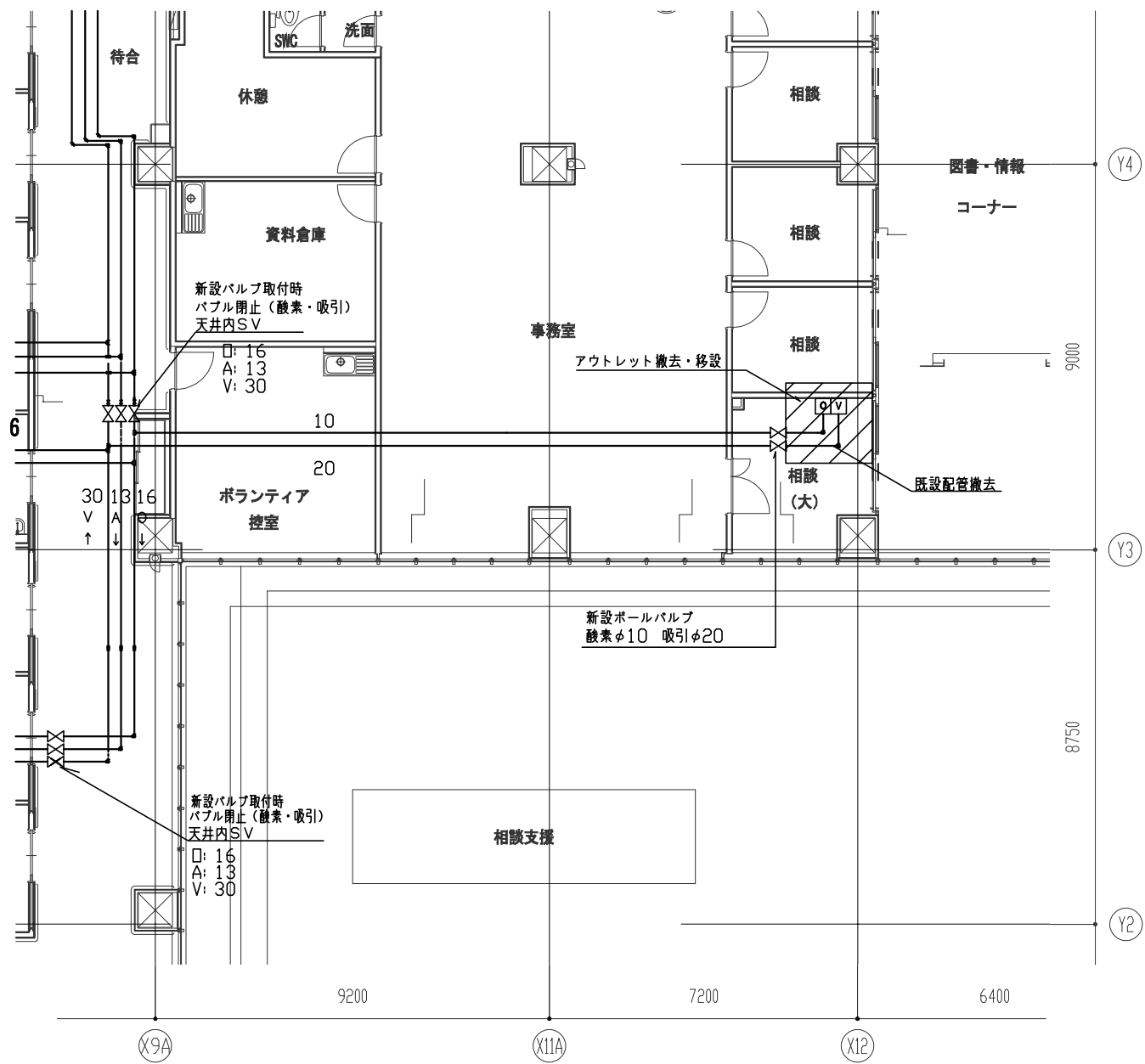


### 3-3 ステップ3 (既存アウトレット撤去)

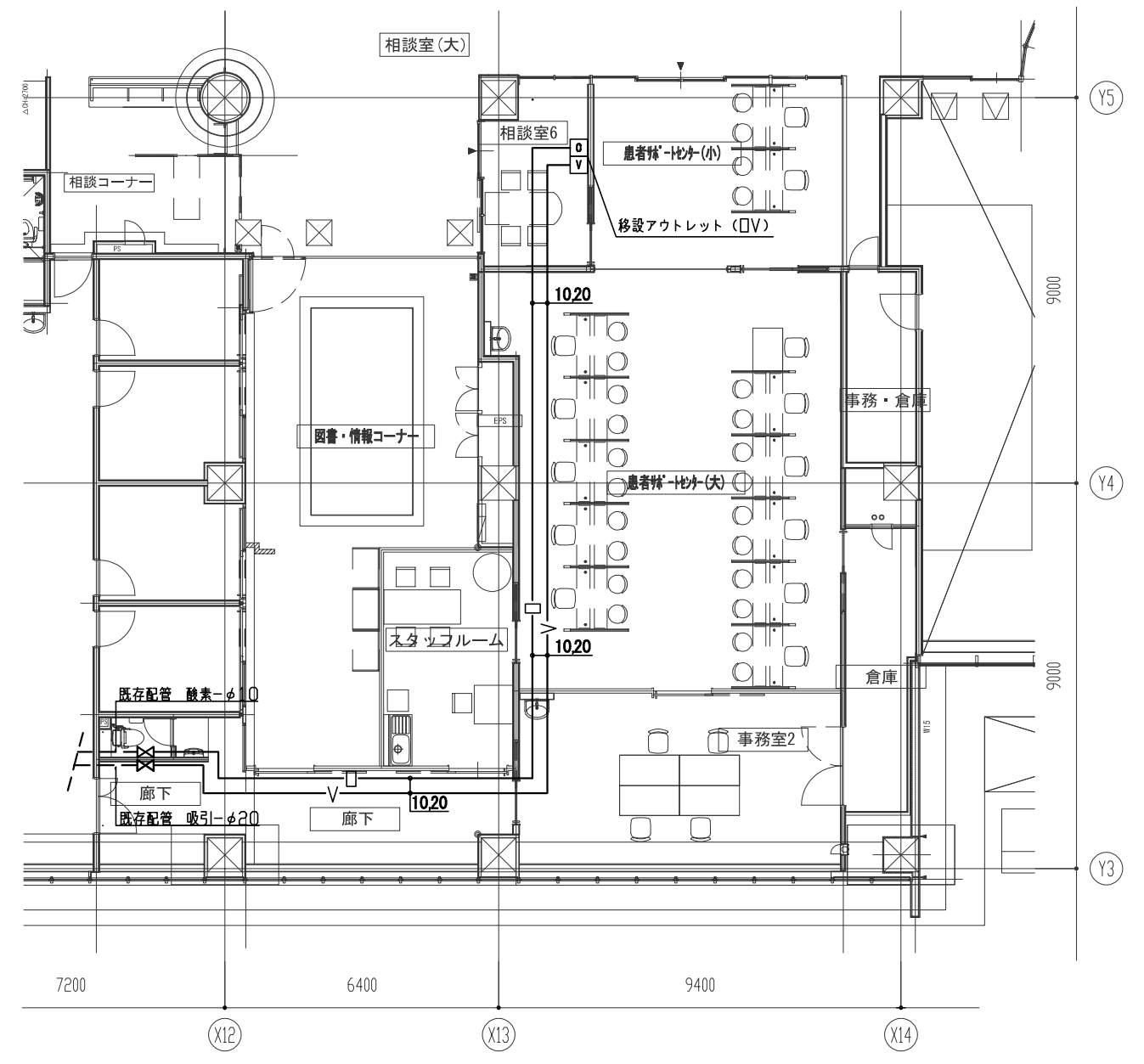


### 3-4 ステップ4 (改修後)

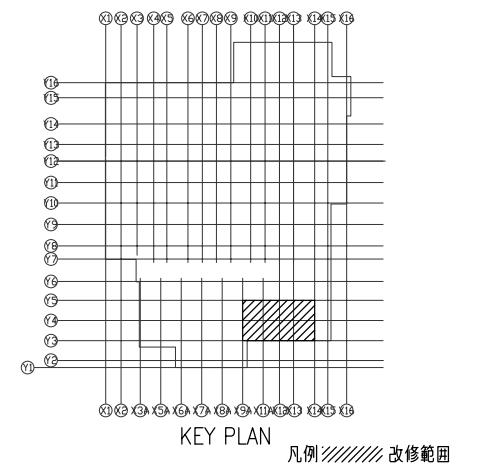




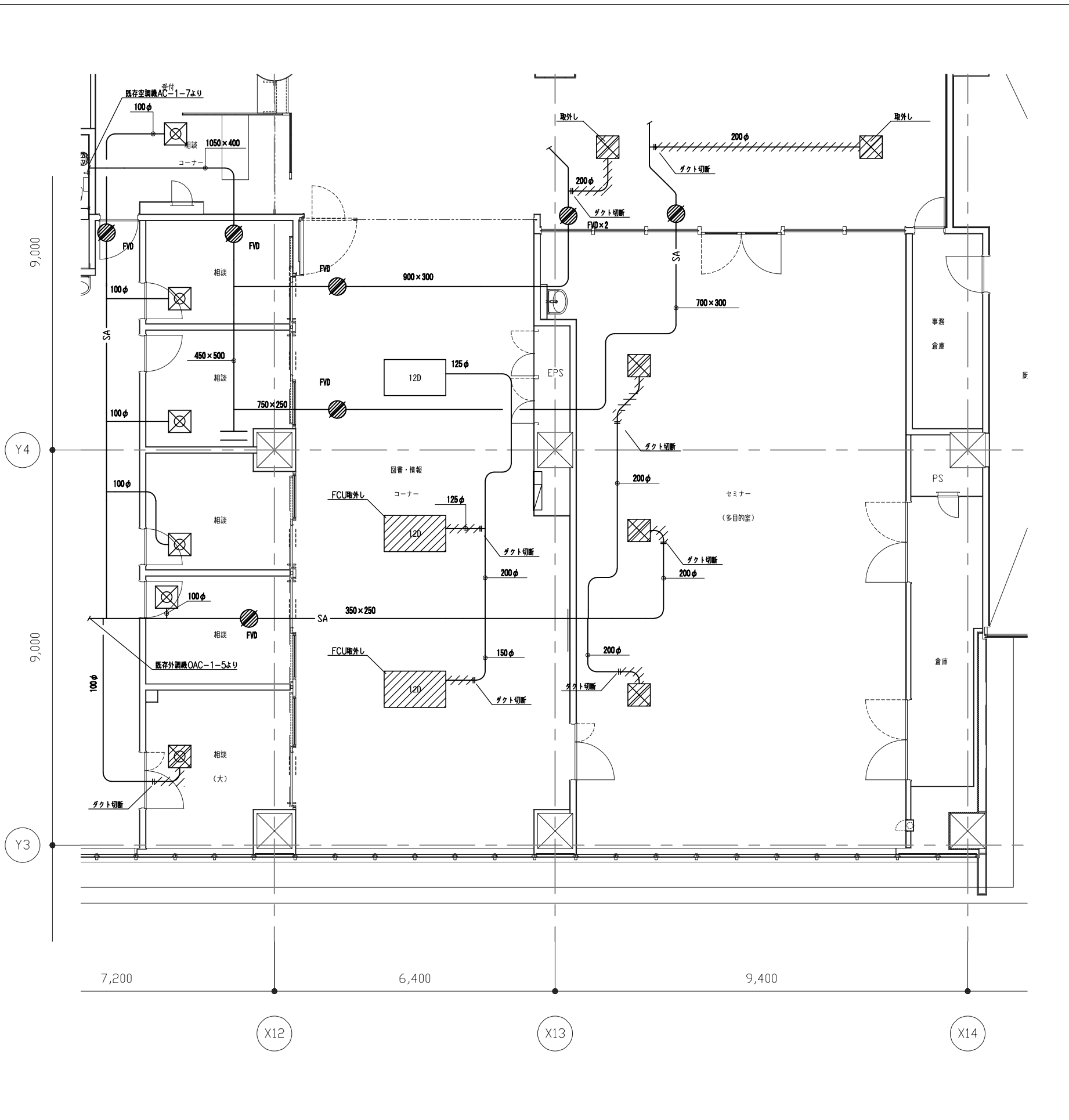
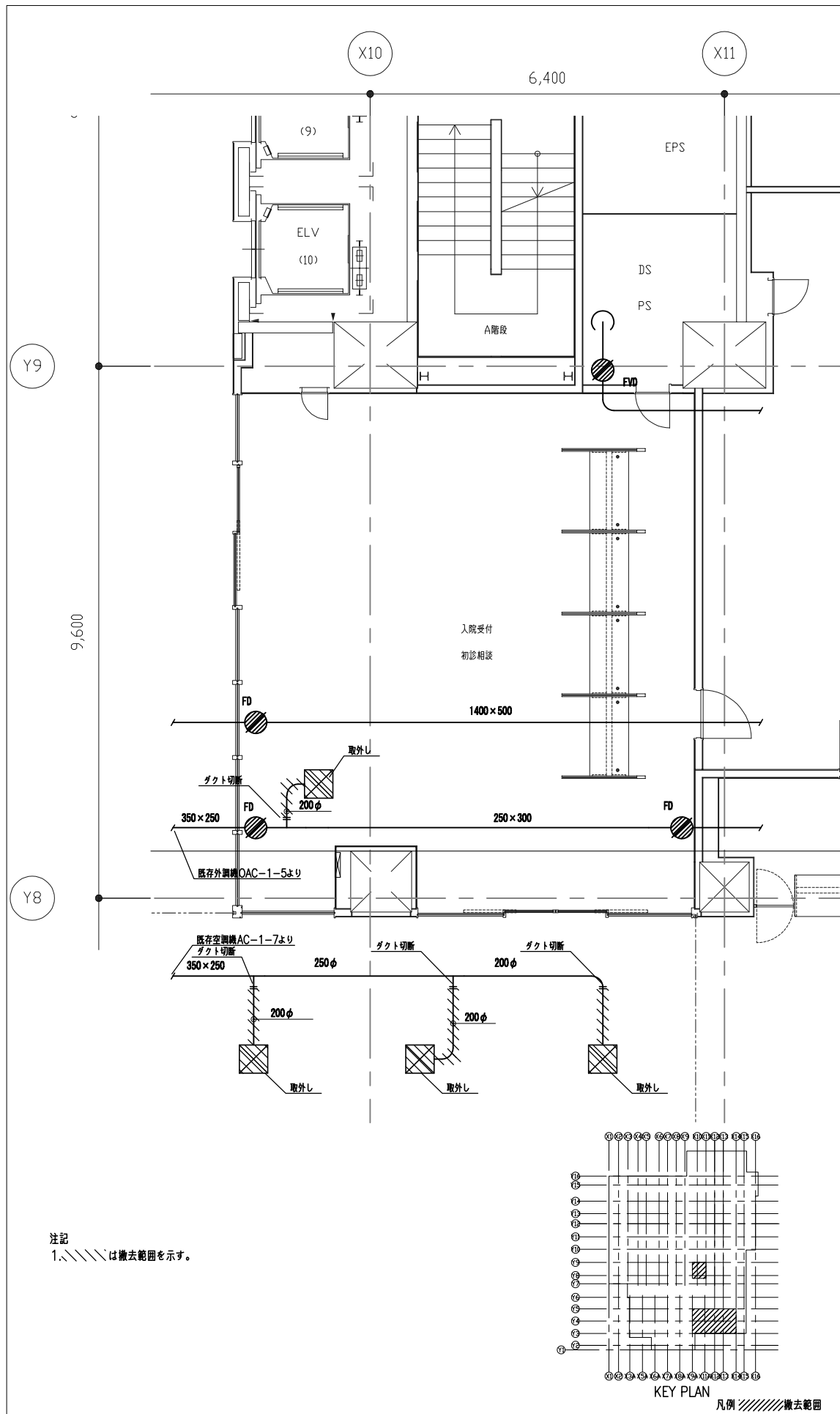
撤去



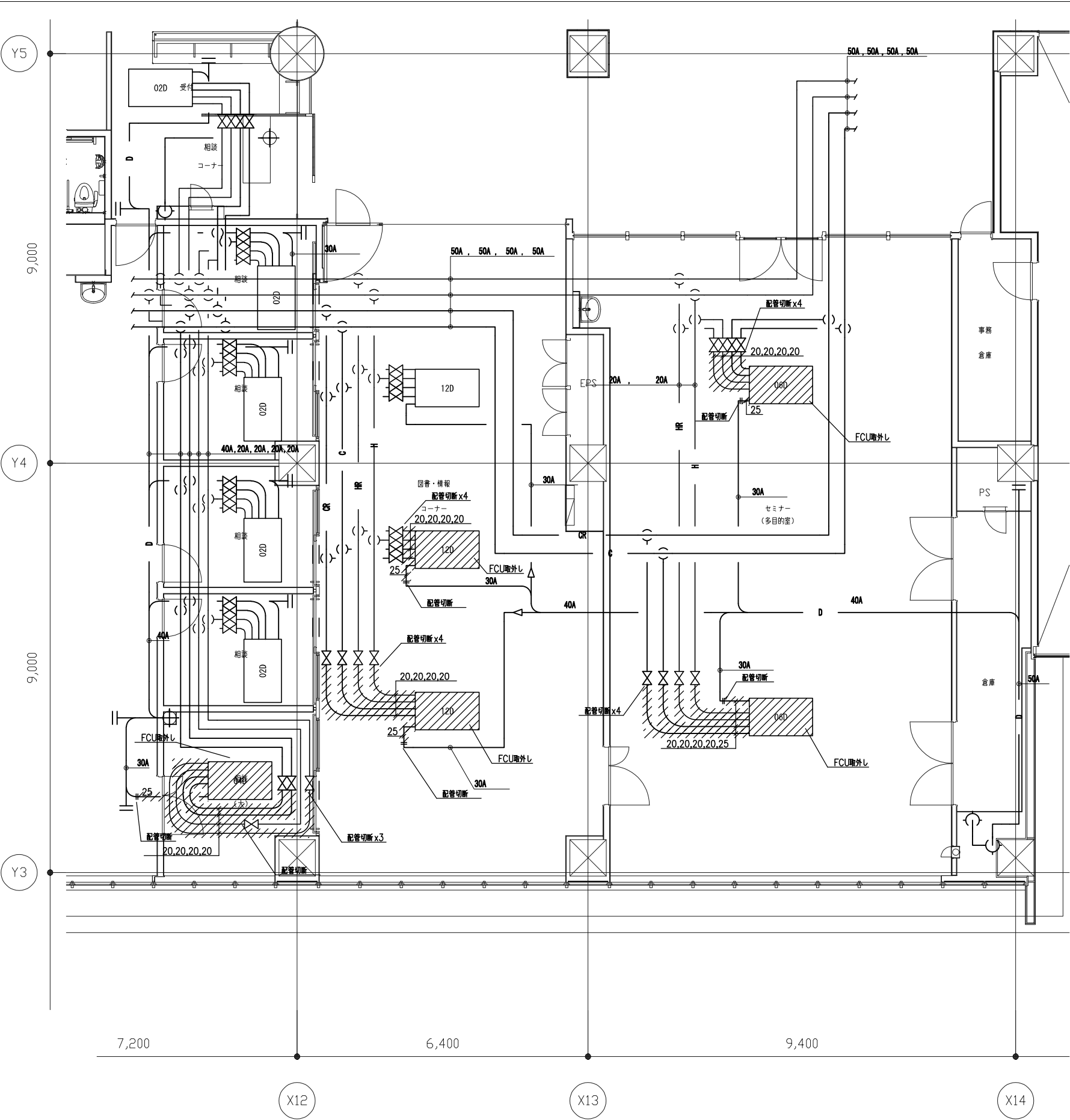
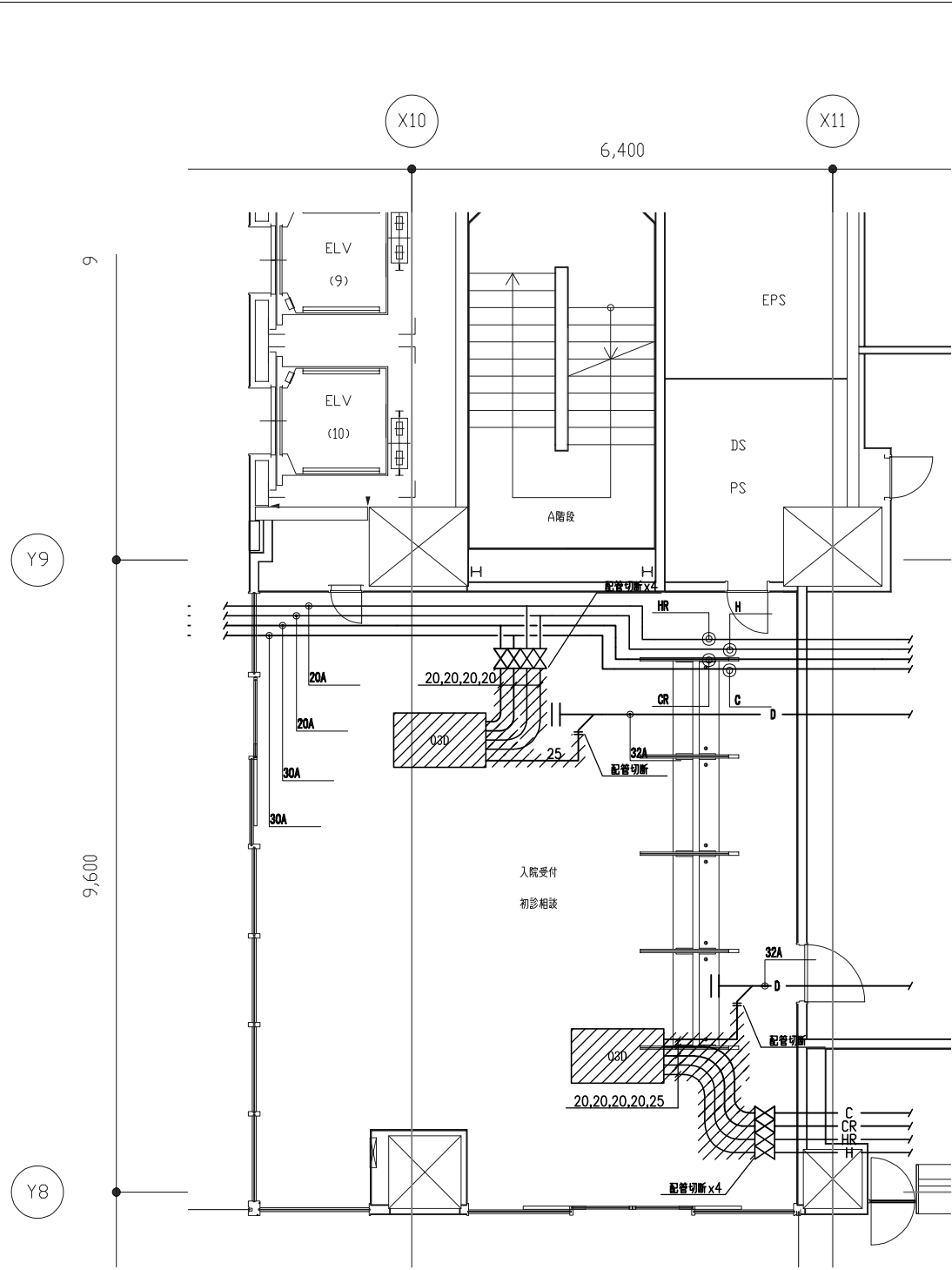
改修



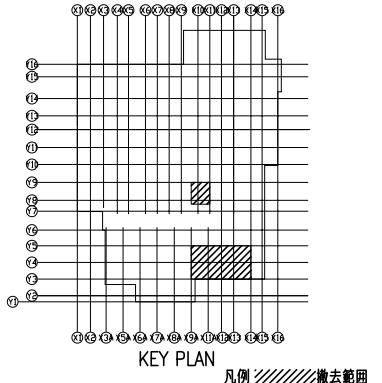
		<b>株式会社 内藤建築事務所</b>		地方独立行政法人埼玉県立病院機構	
		東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都中央区 第2551号		22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事	
地方独立行政法人埼玉県立病院機構				医療ガス設備 1階詳細図 (改修・撤去)	
				縮尺 A1: 1/75 図時日 A3: 1/150	
				P-006	



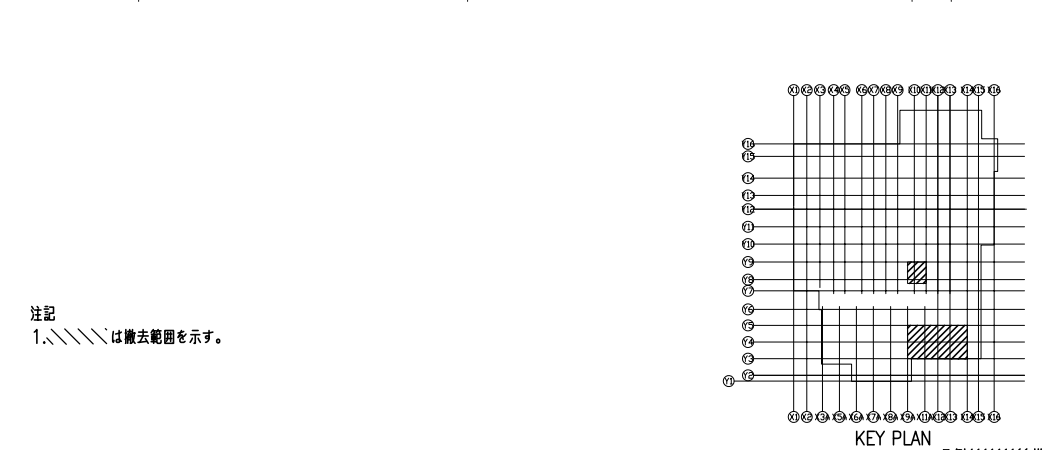
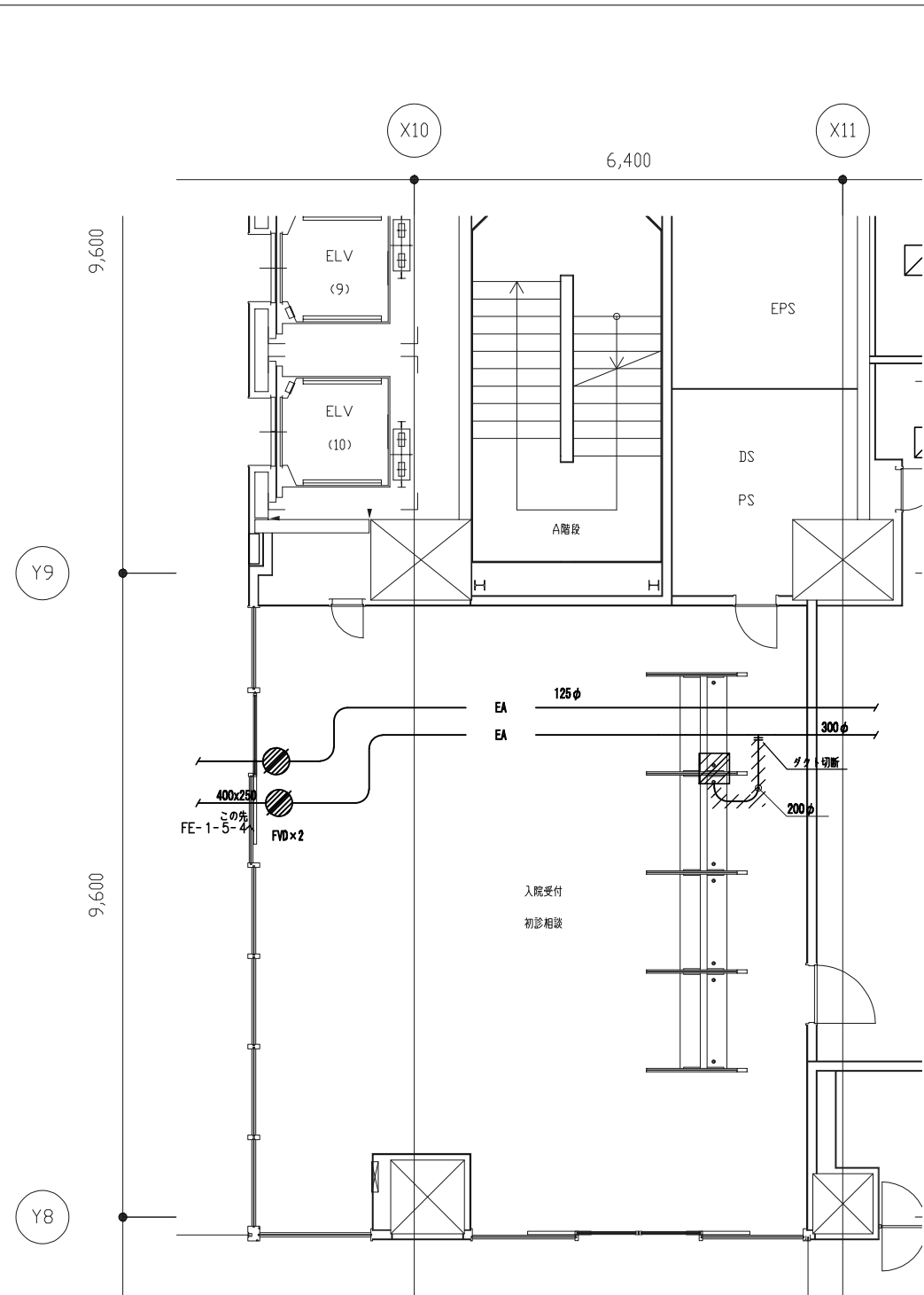
株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都事務所 第5551号		地方独立行政法人埼玉県立病院機構 22がんセンター入院サポートセンター設置改修工事 空間設備 1階ダクト平面図 (撤去)		MK-001
地方独立行政法人埼玉県立病院機構		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100		図名 設計日



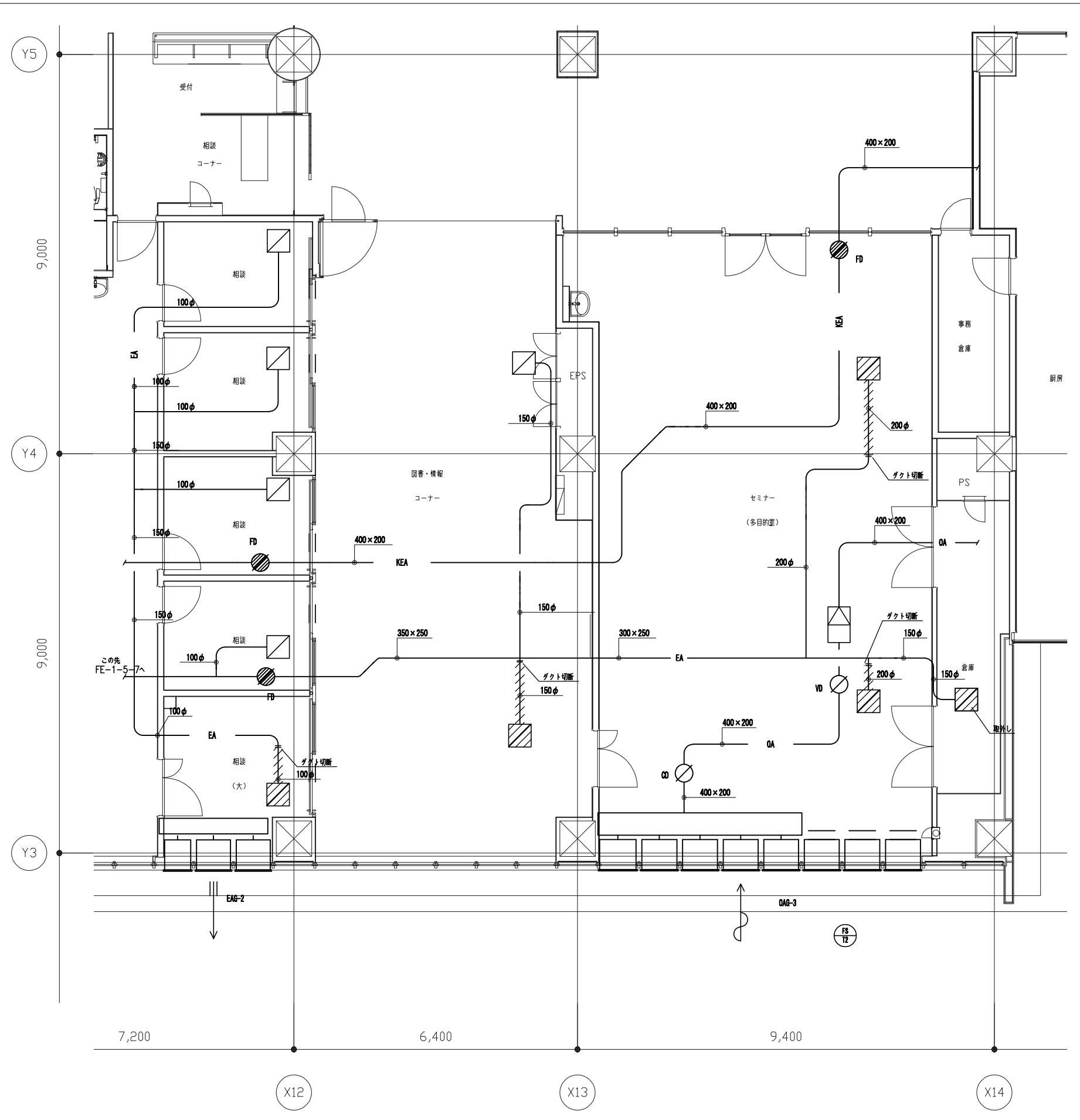
注記  
 1. 〰〰〰は撤去範囲を示す。  
 2. 特記無き配管は天井配管を示す。



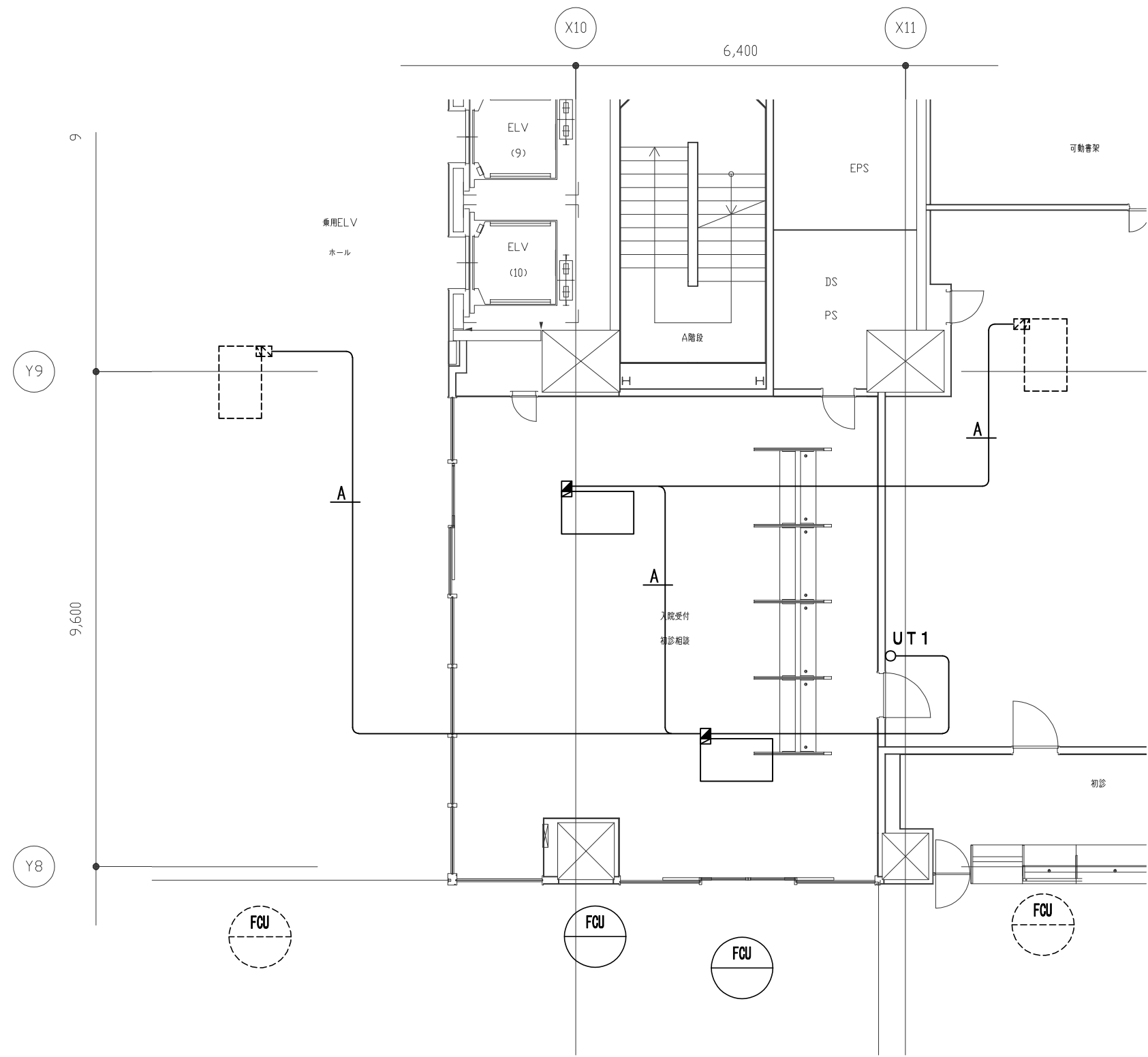
地方独立行政法人埼玉県立病院機構	株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京事務所 電話03-5561-1199	地方独立行政法人埼玉県立病院機構	図章
		工事名 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 図名 空調設備 1階配管平面図 (撤去) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図章 MK-002



注記  
1. 撤去範囲を示す。



		<b>株式会社 内藤建築事務所</b>		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		図番 MK-003
		東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都中央区 第30519号		工事名 <b>22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事</b>		
				図名 <b>換気設備 1階ダクト平面図 (撤去)</b>		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
						設計日

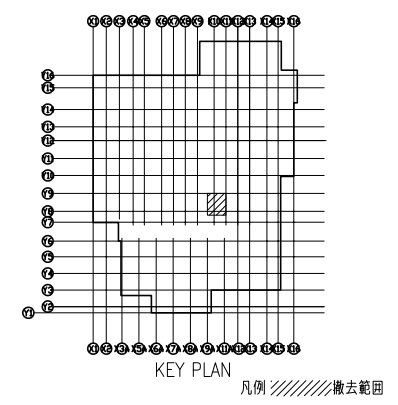


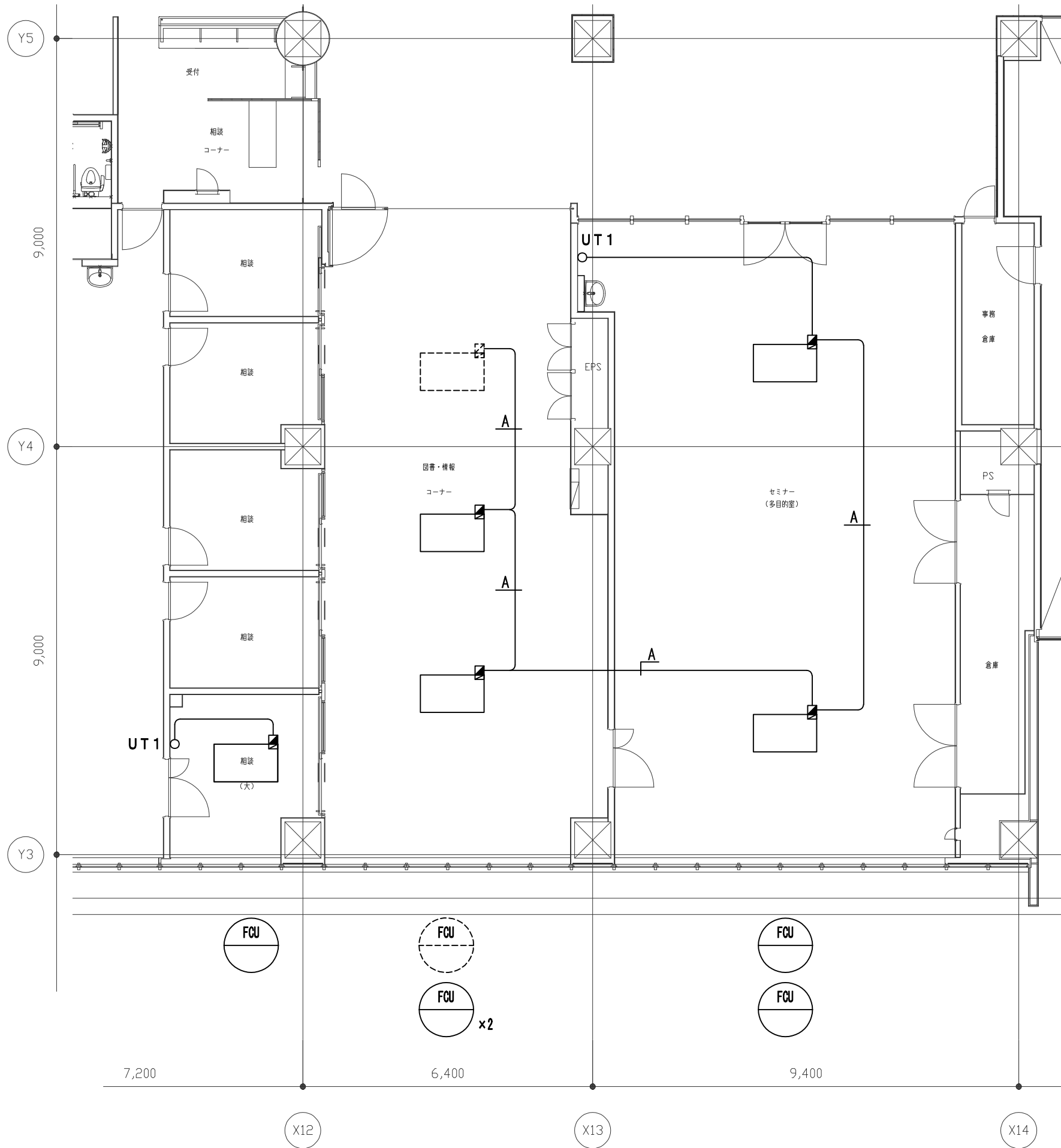
機器凡例				
シンボル	記号	記 録	配 管	
			(室内)	(屋外)
○	UT1	LANケーブル x 1	(F10)	(屋外)

記号凡例	
平面図記号	内 容
—	天井内ケーブル配線

-A-				
LANケーブル	x1	(30g/シ)	DDCF幹線	

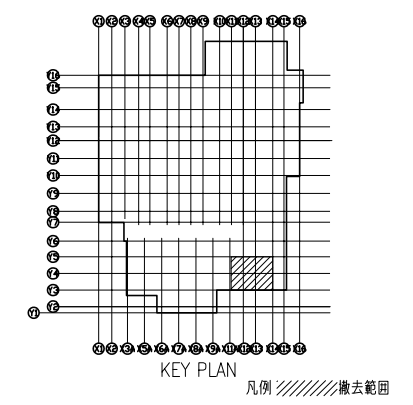
図中配線、配管、自動制御機器の撤去を行う。



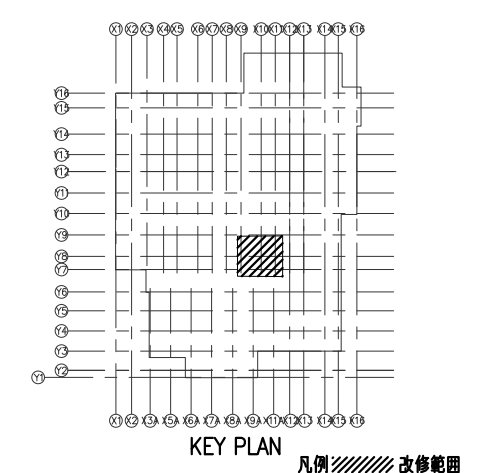
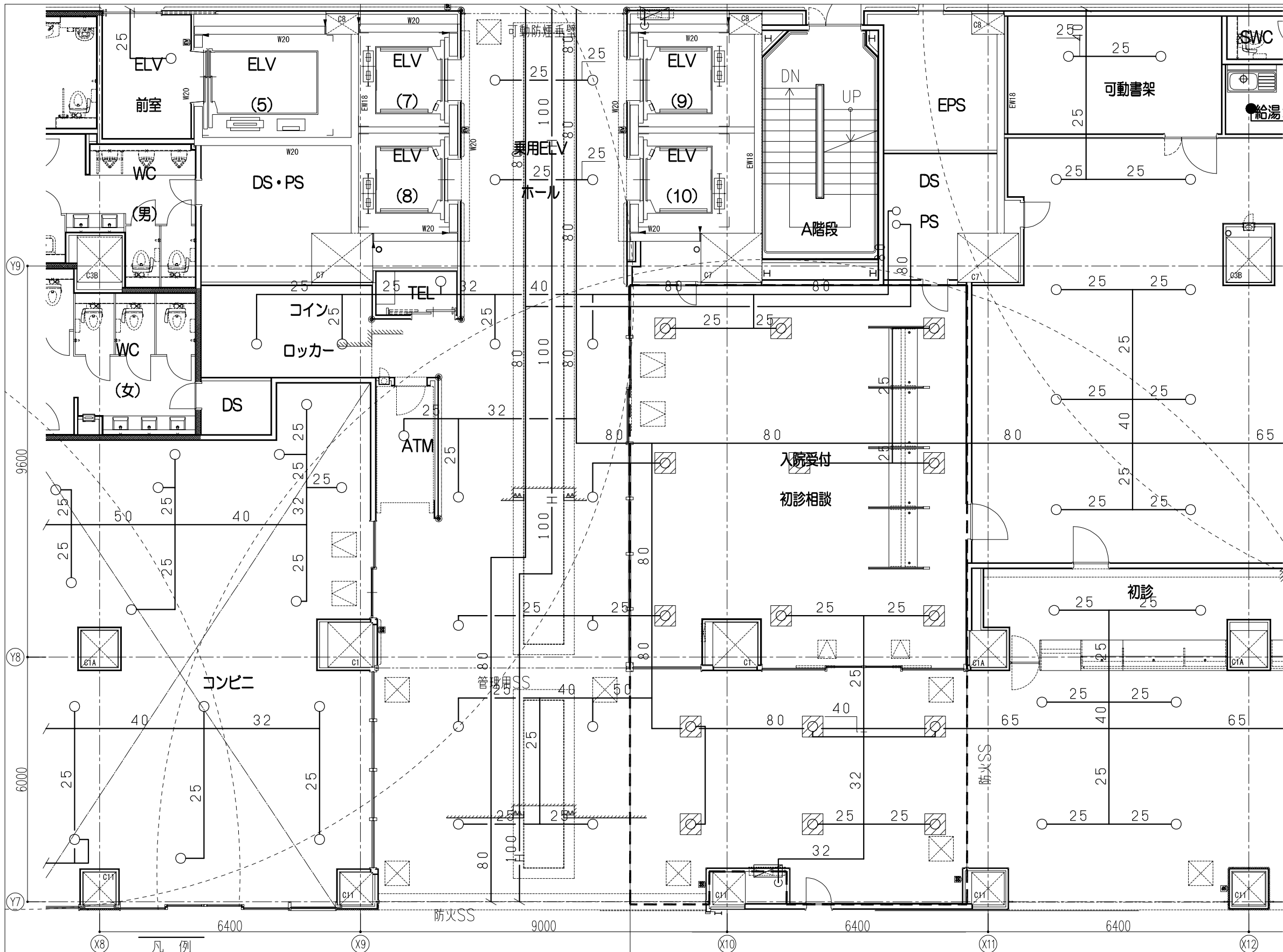


LANケーブル	x1	(コブタ)	D D C F 幹線
---------	----	-------	------------

図中配線、配管、自動制御機器の撤去を行う。



地方独立行政法人埼玉県立病院機構		株式会社 内藤建築事務所		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		MK-005	
〒330-0855 さいたま市中央区八丁堀3-12-8		〒330-0855 さいたま市中央区八丁堀3-12-8		〒330-0855 さいたま市中央区八丁堀3-12-8		〒330-0855 さいたま市中央区八丁堀3-12-8	
一級建築士 小倉 謙二 第272507		一級建築士 小倉 謙二 第272507		一級建築士 小倉 謙二 第272507		一級建築士 小倉 謙二 第272507	
一級建築士事務所 東京事務所 登録第11号		一級建築士事務所 東京事務所 登録第11号		一級建築士事務所 東京事務所 登録第11号		一級建築士事務所 東京事務所 登録第11号	
地方独立行政法人埼玉県立病院機構		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		地方独立行政法人埼玉県立病院機構	
22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事		22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事		22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事		22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事	
自動制御設備 1階平面図 (2) (撤去)		自動制御設備 1階平面図 (2) (撤去)		自動制御設備 1階平面図 (2) (撤去)		自動制御設備 1階平面図 (2) (撤去)	
縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	



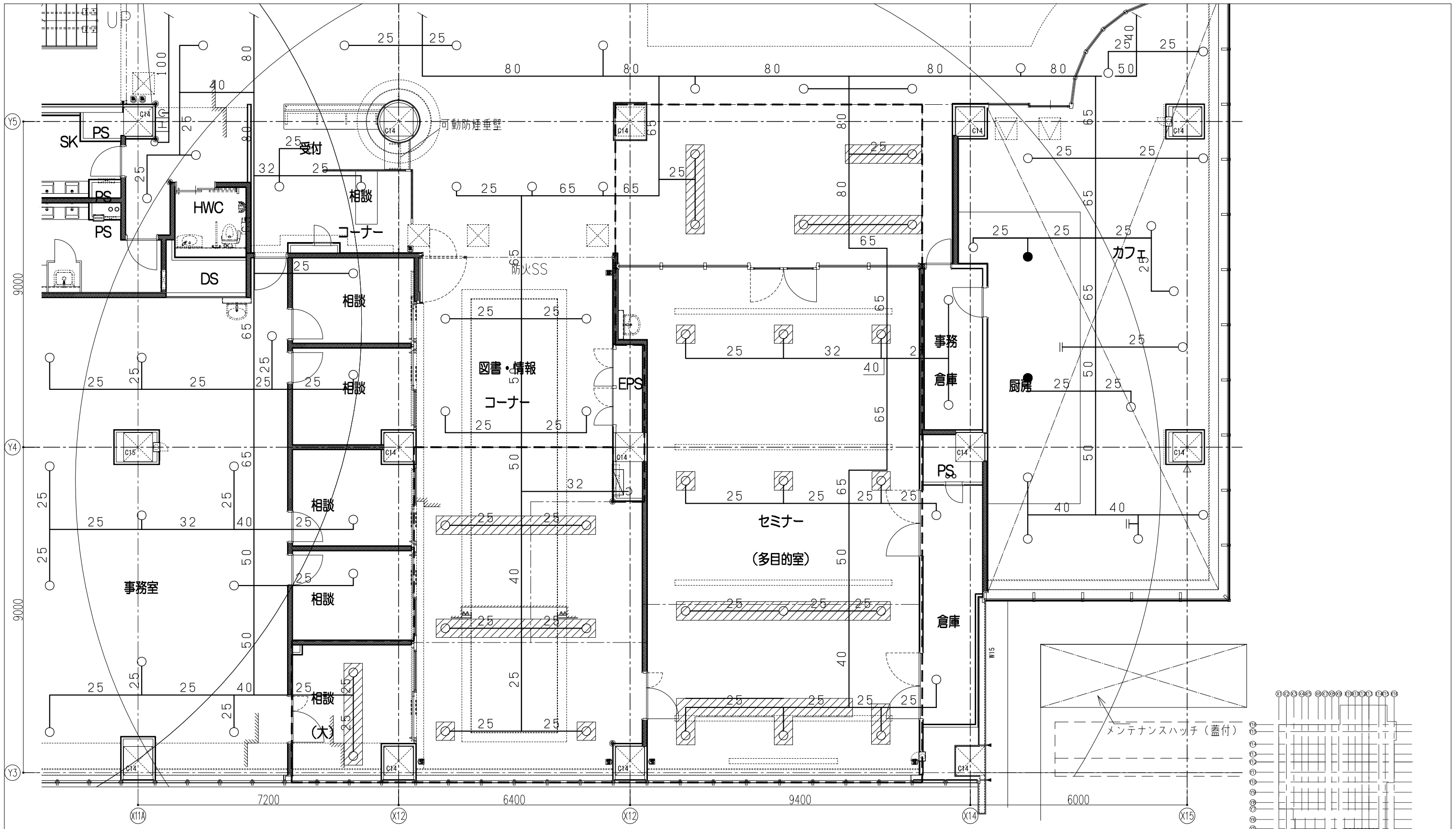
記号	名称	記事
	補助散水柱	弁25A、ホース25A 20m、ノズル、総合盤組込型 消火器ボックス付
	スプリンクラーヘッド	72°C 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)
	スプリンクラーヘッド	96°C 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)

特記

◇ [ ] 部分は天井解体範囲を示す。

◇ 部分は撤去機器を示す。





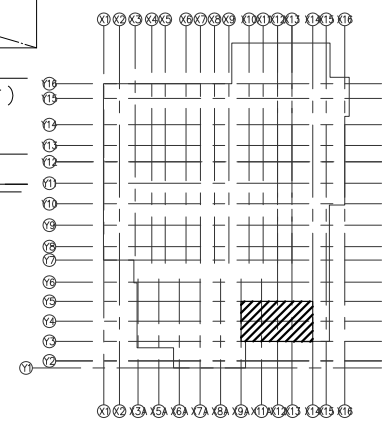
凡例

記号	名称	記事
□	補助散水栓	弁25A, ホース25A 20m, ノズル, 総合器組込型 消火器ボックス付
■	専用栓	弁65A
○	スプリンクラーヘッド	72℃ 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)
●	スプリンクラーヘッド	96℃ 0.1MPa 80L/min (1種 r=2.6)

特記

◇ [ ] 部分は天井解体範囲を示す。

◇ [ ] 部分は撤去機器を示す。



KEY PLAN

凡例 [ ] 改修範囲

地方独立行政法人埼玉県立病院機構		株式会社 内藤建築事務所		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		事務所	
22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事		東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第2172501 一級建築士事務所 東京設計事務所 電話03-5511		22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事		PK-002	
消火設備 1階平面詳細図(2) (撤去)		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100		設計日			